

【小矢部市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 ICT環境によって実現を目指す学びの姿

第2次小矢部市教育大綱における「確かな学力を育む教育の推進」に基づき、1人1台端末などといったICT機器を活用することで、将来、予測困難な時代をたくましく生きていくために必要な「情報を活用し、主体的、協働的に学ぶ資質・能力」を育成する教育を推進する。

2 GIGA第1期の総括

小矢部市ではGIGAスクール構想の実現に向けて、令和2年度に1人1台端末や学習支援システムなどを整備し、併せてネットワーク環境の整備を行った。さらに、令和3年度から児童生徒に情報活用能力が身につくように、チェックリストによる自己評価を児童生徒が実施しており、教員が結果を分析して今後の指導に活用している。

課題としては、学校間における端末の利活用状況や個別最適な学び・協働的な学びの進捗具合に差があることが挙げられる。

3 1人1台端末の利活用方策

今回の1人1台端末の更新に伴い、教職員がさらに積極的に授業などにおいて端末を利活用できるよう、ネットワークなどのICT機器の整備の維持管理や状況に応じた改善を行い、ICT活用における支援の充実を図っていく。

また、個別最適な学び・協働的な学びを進めるために学校間での情報連携のほか、先進校の教員との交流や、教職員を対象とした研修を積極的に行っていく。

さらに、特別な支援を要したり、不登校状態であったりするなど、様々な困難を抱える児童・生徒に対して、それぞれの実態に応じて端末を活用した支援や学習機会を提供できるよう、1人1台端末とクラウドサービスを活用した学びの保障を推進していく。